

平成 22 年度第 5 回

## 恵那市外部評価試行委員会議事録（要約版）

日時：平成 23 年 1 月 21 日（金）14 時 00 分～

場所：消防防災センター3 階研修室

- 
1. 委員長あいさつ
  2. 会議の公開・会議録の公表について（確認）
  3. 議事  
    提言書（案）の確認について
  4. その他

出席者（敬称略）

【委員】市川美彦 柴英子 田口譲 竹内泰夫 柘植麻美 服部ゆかり 宮地政臣

【事務局】企画部長 小嶋初夫 企画課長 西尾昌之 企画課係長 福平栄久 企画課主査 梶村一之

---

### 1. 委員長あいさつ

■委員長 新しい年を迎えてすでに1月も下旬になるが、今年もよろしくお願ひしたい。昨年10月の立ち上げから本日を含めて5回目の委員会になるが、ご多忙にもかかわらず出席いただきお礼申し上げる。本日はまとめの段階の議論となる。次第に沿って進めさせていただくのでよろしくお願ひしたい。

### 2. 会議の公開・会議録の公表について（確認）

### 3. 議事

#### 提言書（案）の確認について

■委員長 資料については既に送付しているが、事務局から提言書の案の概要について報告していただく。全体の説明の後に皆さまのご意見、追加事項を伺い、提言書としてまとめたい。

〔事務局より説明〕

■委員長 提言案についての新たな視点からの意見、評価委員になつての感想を含めた意見をお願ひしたい。

■委員 確認させていただいて、思ったことは反映している。職員は最小の経費で最大の効果を上げるように事務を進めていただきたい。また、予算の不要額を残さないような予算編成をお願ひしたい。提言書の中にも触れられているが、出納閉鎖後から翌年度の予算編成までに点検を行い、事業の効果を出していくことが大切である。

■委員 この提言書の案はよくまとめられていると思った。最初に資料を頂いたときはとても難しく感じたが、5回の会議を通していろいろ教えていただく中で、自分なりに1つのことが成し得たと感じた。職員と市民が同じ目線で事業に向かつていく姿勢が大切と感じた。

■委員 この委員を受けたときは、大変な委員を引き受けたと感じ、会議に参加するのが不安であった。今までは行政についてあまり関心がなかったが、5回の会議を通じて行政について勉強させていただき、ようやく少しずつ理解することができた。このような会議に参加して、市民が深く考える機会を持つことは大変良いことと思った。勉強させていただき参加できてよかった。

■委員 行政評価がどういうものか理解できたことがよかった。また、傍聴者のいる中で意見を言うことの難しさを感じた。関係各課のいろいろな意見を間近に聞くことができたのは評価できることだが、厳しい状況で判断していかなければいけないということ、次回

以降委員になる方には説明する必要があると感じた。

■委員 外部評価委員のお願いがあったときは気楽に返事をしたが、外部評価するにはそれなりの勉強をしないと難しいと感じた。特に数値の読み方が難しかった。自分なりに分かる範囲で評価を行ったが、どこまで答えられるか、だんだん自信がなくなってきた。表記の中で委員会の回数は1ヵ月に2回程度、1年で8回程度とあるが、何月から何月までかを追加することによって、より具体的になると思う。

■委員 提言書の中身はうまくまとめてあると思う。会議を公開したことについては良い面と悪い面があったと思うが、私は良かったと思う。一番肝心な予算への反映については、次年度の委員会にて報告することになっているが、うやむやにならないようにしてほしい。ただし、必ずしも次の年の予算に反映しなくてもよいと思う。市民の目線からみて、中長期的な事業の方向性が分ればよい。例えば、縮小傾向の事業なのか、そうではないのかが分かればよいと思う。時間がなくてできないと思うが、利用者の生の声が聞けるとよいと思った。

■委員長 各委員の方から委員会に参加した感想や提言書の中身についてご意見をいただいた。提言書の中身については実施時期について意見があった。例えば、6月から11月までなど期間を明記すると具体化するのではないかな。

私も委員長をさせていただいた立場から意見を言わせていただくと、個人のそれぞれの見方があるので、評価の基準があるといい。例えば、上矢作歯科診療所の場合、上矢作地区だけで考える場合と、全市的に考える場合の2つの見方から1つの評価を導き出すことになる。各委員によってさまざまな思いがあるので、1つの基準からA・B・Cを導き出すような説明が必要ではないかな。

予算への反映については、総合計画の後期計画で1年ごとの財源は明確化されており、年度の計画の中に事業予算が財源的に裏打ちされてくるので、その中で予算反映させるという考えでお願いしたい。

提言書の最後に記載してあるが、利害関係者が委員に直接問題提起をするような場合がある。例えば今回の上矢作歯科診療所の問題でも外部から市長や委員に直接問題提起がされた。委員に直接問題提起するのではなくて、事務局を通して委員会で利害関係者からの意見を審議していくことが必要ではないかな。正式な外部評価委員会が発足した場合、事務局は心して事務を進めてほしい。

■委員 行政内部の行政評価委員会との評価の比較がなかったが、今後比較を行うかどうかも課題ではないかな。

■事務局 恵那市は今回初めて試行という形で外部評価に取り組んだ。それまでは副市長が委員長を務める内部の行政評価委員会で評価を行ってきた。最初の会議で説明させていただいたとおり、評価は担当係長レベル、担当課長レベルで評価しており、さらに重要な

ものに関して行政評価委員会で評価を行ってきた。今まで内部においても試行のような形で行ってきたが、5 年ほど行ったことと、市議会から一般質問をいただいたので、今回初めて外部評価として試行させていただいた。今回の結果については内部評価の内容と異なるものもあるので、市としての方向性を協議して結論をお伝えしたいと考えている。今回の 4 つの事業をみると来年度の予算にすぐに反映できるものは少ないと思うが、長い目で予算に反映させていただきたい。また、進行管理はしっかりやっていきたい。

■事務局 委員会の回数について期間を明記するようにご意見をいただいたが、その他に変更、追加事項があればご意見いただきたい。

■委員 その他のことについては、委員長、副委員長に一任できればありがたい。

■委員長 その他意見がなければ、本日意見を頂いたことを基に、委員長、副委員長で協議して正式な提言書としてよいか。

〔 異議なし 〕

#### 4. その他

■事務局 今回確認していただいた提言書は2月4日に全員で市長に提出する予定である。

〔 提言書提出日 平成 23 年 2 月 4 日（金）午後 4 時 30 分～ 〕

〔 閉 会 〕